

- 1 南海トラフ巨大地震・警戒・・・震度5弱以上の揺れがある場合
 ・・・震度6弱以上の揺れがある場合（太平洋沿岸部は可能性大）

- 2 美濃加茂市の震度に応じて下記のような行動が原則（※南海トラフ地震に限らず対応）
 市総合防災計画では震度4以上で防災無線、震度5弱以上で第1次非常体制となり市災害対策本部設置

| | | 当市が震度4以上 | 当市が震度5弱以上 |
|-------------|------|---|--|
| 授 業 日 | 登下校時 | 【児童】 原則通常通り登下校 ※地震状況により 近い方へ戻る 【教職員】 安否確認 メール配信・電話等 | 【児童】 自宅又は学校のうち安全で近い方へ避難する(避難場所の場合も) 【教職員】 安否確認(メール配信・電話等) 【保護者】 児童が家に引き返した場合は、保護者は学校へ伝達する 登校した場合は、引き渡し下校 |
| | 在校時 | 【児童】 原則通常通り授業 状況により引き渡し 下校 【保護者】 状況により引き渡し 下校準備 | 【児童】 自らの命を守る行動と安全確保 【教職員】 児童の避難誘導と学校対応の連絡(引き渡し下校・待機) 【保護者】 引き渡し下校のため学校へ ※状況によっては徒歩・自転車等での迎え |
| | 在宅時 | 【児童】 通常通り登校 【教職員】 通学路の安全確認 | 【児童】 自らの命を守る行動と安全確保・自宅待機・避難行動 ※状況によっては避難場所に避難 【教職員】 学校対応の連絡 【保護者】 児童の安否確認、情報収集と避難行動 |
| 休 業 日 | 在宅時 | 【児童】 安全確認 【保護者】 家庭で安否確認 | 【児童】 自らの命を守る行動と安全確保 ※状況によっては避難場所に避難 【保護者】 家族の安否確認、情報収集と避難行動 |

- 3 【重要】 以下のことについて家庭でお子さんと話し合っておいてください。

- 例1 家(学校)の近くにいるが登下校中の道が、がけ崩れて通れない場合どうするか→家庭で相談を
- 例2 家族が出かけており、帰宅しても子供だけで長時間いることになる場合どうするか →家庭で相談を
- 例3 自宅も学校も危険な場合・家族と連絡が取れない場合などの集合場所は●●●とする →家庭で相談を

- 4 【注意事項】 震度5弱以上の揺れがあった場合

- 【1】原則として電話での学校への問い合わせはご遠慮願います。(非常時対応連絡に支障がでるため)
- 【2】地震の情報発表に伴い、電話や緊急メールがつながりにくくなり、保護者の方に連絡が取れなくなることが予想されます。児童が授業中の場合は、学校から連絡がなくても「引き渡し下校の準備行動」をとってください。(※準備行動とは、児童の迎えができるよう連絡調整すること)
- 【3】学校からの連絡手段として、優先順位【①メール配信 ②学校HPへの掲載 ③個人の家庭電話の順】としています。